

うちゅうせん新聞

広報係 2012年3月17日発行 3号

☆ 天文ボランティア会報 ☆

“例会”より

11月26日(土)14:00~15:00 出席者8名

1. 12月の観望会について
2. 12月例会&忘年会開催について
3. 新聞発行、その他

12月はうちゅうせんの観望会1回と外部観望会(一高)だけで終わり、次回例会での忘年会と、時節柄?オーロラツアーの募集があり興味を持っている話から、体験者の談と別な話題で盛り上がりました。冬期は情報が多いものの、観望会には厳しい時期で主催者側も企画しないようです。

12月17日(土)15:00~16:40 出席者8名

例会終了後、一番町で忘年会を行うため、晩翠通りの戦災復興記念館において初めて実施しました。そのためか、例会出席者と忘年会参加者が同一で打ち上げといった様子でした。新たな依頼がまだなく、12/10の皆既月食や来年5月の金環食等次の天文現象への期待に夢を膨らます内容が主となりました。



1月28日(土) 14:00~16:00 出席者8名

今後の観望会2月3月の予定なし。3月の例会が24日から17日に変更(全体会のアンケート内容検討)。来年度のえぼしスキー場での観望会の依頼があり、開始時刻を19時から旨要望予定。ボランティア保険4月に更新。

石垣さんよりMLリストにて「天文テレビ情報」が配信されますのでお楽しみに!乗組員のスキルアップには是非。

まさかの大震災からの1年、どうなる事かと思いましたが通常の生活・活動ができるようになったことに感謝。1年間の活動お疲れ様でした。新年度は前向きに新たな一歩踏出したいですね。

“例会” 続き

2月18日(土) 14:00~16:00 出席者8名

11月の観望会、るぼぼかわさきでお会した椿さんが新乗組員で参加(大石さんのお知り合いだそうです。)2月現在の予定として、5月21日:金環日食6月:泉環境まつり 亘理の観望会依頼・各係より、全体会のアンケート・天文台年間パスポートの締切り日厳守等ありました。Iさんより恒例のバレンタインチョコの差し入れもありました。

観望会より

向山小学校観望会11月2日(水) 18:30~20:00 (うちゅうせん4名、参加者130名) 曇天

校庭に望遠鏡4台、体育館の準備を終え観望会を始めました。

初めに、うちゅうせんの自己紹介、次に今月の星空を行い、校庭に移動しました。薄雲の中の上弦の月を観てもらいましたが、かすかに形が分かる程度、運の良い子どもは、クレーターが観れたかという感じでした。木星もかすかに形がぼーっと見える程度でしたが、熱心に観てくれていました。

その後、体育館に移動し、星座物語「迷子になったインディアン」を上映、4年生はもちろん、小さい子どもたちも熱心に見ていました。続いて天文クイズ。土星は水に浮くの?なんてびっくりしていた子どもや、ウルトラマンの故郷を知っていた子どもの多さにこちらがびっくり、なんて楽しい雰囲気クイズに回答していました。最後に来年の日食のことと流星群のお話などしました。

4年生から観望会のお礼にと、12日の学習発表会で披露する合唱「もみじ」をプレゼントしてもらいました。先生の指揮で学年の気持ちが一つになった美しい歌声に感動しました。子供達のお母さん方が、チャンスとばかり携帯のカメラを向けていました。(笑)

参加賞に子どもには天体シール、各家庭に天体写真を1枚お渡しして終了となりました。

るぼぼかわさき観望会①11月22日(火) 18:30~20:00(うちゅうせん5名、参加者40名) 曇天

現地に近くなった所で、道路わきに何やら白いものが・・・?何と雪だったんです。

前日降ったとの事で、スキー場のゲレンデは積雪15cm位積もったと聞かされました。

観望会の対象は2回ともお泊りの家族連れ。1回目は13家族40名で会場の食堂は参加者で満杯でした。夕食前に食堂前のテラスに望遠鏡4台をセッティング。その時点では木星が雲の間から見え隠れし、西空のは夏の大三角が光っていたんですが・・・

20時の開始、自己紹介の後「今月の星空説明」、出発前に急遽作成したパワーポイントで「木星の説明」をした後、期待はしないで!と外に出て貰いました。

全天雲だらけで、主役の木星は時々顔を出す、と言った有様。4台の望遠鏡で何とか見えてはもらったものの縞模様や衛星の確認が出来なかった方も多かったようでした。

寒さも思ったほどではなかった事もあり、木星をかなり待ちましたが、小雨が降ってきた事も有り室内に戻り「鎖につながれたお姫さま」をしてもらい、他の3人はその間に機材の撤収でした。

最後に、12月10日の皆既月食、来年5月の金環日食の説明をし、退席の時に参加賞の天体写真を持ち帰り頂きました。全部終わった時計は予定の時間をオーバー・22時を指していましたが、室外で時間を取り過ぎたのでした。泊まりの方だけなのでそういう面では楽・・・(笑)

るぼぼかわさき観望会②11月27日(土) 18:30~20:30(うちゅうせん5名、参加者43名) 曇天

自己紹介の後、今月の星空紹介、室外に出て見たところ木星がキラキラ輝いていましたので、急遽室外に出て貰い、木星やすばるを見て貰いました。東側は少し雲が有りましたが、夏の大三角が終始西空に横たわっていましたし、カシオペアや北極星もはっきりと確認できるという良いコンディションで、寒さも吹っ飛ば?星見となりました。

全員に4台の望遠鏡を見もらった後、室内に戻り、今見たばかりの木星の説明引き続いての星座物語は「プレアデスの七人姉妹」これまた今見てきたばかりのものでした。最後の質問コーナーでは、小学低学年の男女から「ダークマター」「ホワイトホール」って何ですか?の質問があったのにはチョット驚き!でした。

☆伝言板の話題①

(10/12の矢本西小学校観望会への投稿です) 矢本西小学校観望会II 投稿者:すびかママ 投稿日:2011年10月16日(日)

肉眼で見てもほれぼれするようなお月様で、みなさん望遠鏡をのぞきながら「まぶしい!」を連発していました。

木星も、かすかに縞模様を確認できたこともあり、少しでも中でふれておくともう少しわかりやすかったかなと反省しました。

「縞模様というよりは、腹にまいた帯だね。」と、おっしゃったお父様がいて、なるほど『縞模様』というのは、全体像をイメージしてしまっている天文屋独特の言い回しなのかもしれないなあと思いました。中で、木星の写真なりを見てから(あるいは説明?)この部分の縞が見えるかも・・・ともっていくと、感動も大きいかもしれません。 矢本西小学校から・・・ 投稿者:永井 投稿日:2011年10月27日(木)

先般実施した矢本西小学校から、昨日(10/26)児童、ご父兄連名のアンケートの結果が寄せられました。

児童、ご父兄ともに好評だった事が読取れ、一安心、と言ったところです。

アンケートの結果は、次回の例会でご覧頂きますが、月や木星を望遠鏡で初めて見た方が多かった様でした。教室以外での授業の重要性に付いてのものも有りました。

2年前(4年生の時)ふるさと学級で逢っており、今回の席上で「覚えている人は?」に対して全員が首をひねっていたように見えたんですが、アンケートの中に「私は覚えていました」と言うのが有り、嬉しい気分になりました。



観望会より 続き

小牛田高等学園観望会 12月1日(木) 18:30~19:30

(うちゅうせん2名、参加者50名) 曇天

会場の黑板には、今回見られるであろう月、木星、おうし座、ぎょしゃ座などを調べて書いたものが黑板に貼ってあり、楽しみにしていてくれた事が偲ばれました。

それなのに、あ〜それなのにです。空は雲で埋まっていたのでした。黑板に「星を見る会」と大きく書いてあったのに・・・「星の見られない会」になってしまいました。

地球儀を使って月までの距離の話や、木星の説明、12/10の皆既日食や、来年5/21の日食の話をした後、全員に外へ出てもらっては見たものの、見えたのは雲だけ。

星は諦めて貰って室内に戻ったのが19:25。星座物語を、と思ったところ、終了が19:30と言われ、急遽、分間の質問コーナーに。(笑)質問は一つ出ただけでしたが。

星座物語要員で同行した連れ合いでしたが、室外での見張り役要員になってしまいました。(笑)

駄目目で望遠鏡を2台設置した事も有り、室内外の後始末に時間が掛ってしまいました。

亙理図書館観望会 12月3日(土) 18:30~20:00(うちゅうせん4名、参加者30名) 曇天

雨が上がり、多少期待はしたものの、外での観望会はできませんでした。

自己紹介の後、「今日の星空」についての説明、星座物語「迷子になったインディアン」次に「天文クイズ」を楽しんでもらいました。外は曇ったままだったのでこの時点で外の観望会は中止にしました。次にビンゴゲーム、星座表を引いてもらいながらゲームを進めました。ビンゴ当選者には12星座カードを進呈!全員星座表を引いてもらったらビンゴ当選者・・・

次に星座物語2本目「くさりにつながれたお姫様」と12月10日月食の説明をしました。来週は晴れて月食がみられるといいですね。

最後に疑似観望(土星を観てもらい、参加賞として天体写真、お子さんには天体シールを渡し終了しました。



その他の観望会レポート

*「天体観望会の企画・実施の支援実行委員会」(委員長:水野孝雄@東京学芸大名誉教授)

「冬の星空観望会(実施初心者の講習を兼ねる)」

「天体観望会の企画・実施の支援実行委員会」が行う活動の1つである観望会が仙台市第一高等学校で行われ、うちゅうせんからも、近藤さん 西口さん 伊川さん 小林さん 石垣さん 今野さん 大石が参加しました。(船長は急用のため不参加)観望会の目的は「子どもたちに星空を見上げ、天体をつぶさに観る機会と、自ら天体観望会を企画・実施できることを目指す人へのレベル向上の場を提供する」ものでした。



実施内容

1. 月日:12月4日(日)
2. 時間:17時30分~18時30分(観望の時間)

事前に11月19日にスタッフミーティングが行われ12月開催になりました。当初あまり参加者がいないのでは・・・とっていましたが、総勢で300名ほどの参加者があり、望遠鏡にも列ができるぐらい盛況に行われました。うちゅうせんの参加者はテラスの上で星空案内を行い楽しむことができました。天文同好会、仙台市天文台(ベガ)一高のボランティアスタッフなど総勢約50名で実施されました。なにより晴天に恵まれたことが良かったですね。参加者は小口径や大口径の望遠鏡で星空を楽しんでいたことと思います。参加された方々 本当にお疲れ様でした。

☆ 2012年の天文現象(4月~) ☆

- *4/17(火)土星が衝(おとめ座のスピカと並ぶ)
 - *4/30(月)金星が最大光度(夕空で-4.5等)
 - *5/21(月)金環日食
(今年最大の見物・仙台は究極の部分日食)
 - *6/6(水)金星の太陽面通過
 - *7/15(日)木星食(昼間の現象ですが・・・)
 - *8/12(日)ペルセウス座流星群が極大
 - *8/14(火)金星食(肉眼で金星が満月に隠されるのが楽しめます)
 - *11/14(火)北オーストラリアで皆既日食
 - *12/3(月)木星が衝(おうし座に・・・)
- ∴今年では日本での金環日食や金星の太陽面通過(次回は105年後)など話題の多い年ですね。

☆伝言板の話題 ②

太陽が1年で一番近づく日 投稿者:永井
投稿日:2012年1月5日(木)

今日9:32地球が近日点を通過しました。と言っても何も起こりません(笑)

ご存知の通り、地球は太陽を中心にしてその回りを廻っていますが、まん丸ではなく多少楕円に廻っている為、太陽までの距離が遠くなったり近くなったりします。

ラジオで寒い冬に太陽までの距離が一番近づく日と言う事を聞いた連れ合いが「なぜ?」と素朴な質問をして呉れましたが賢明な諸姉・諸兄には笑話の事と思います。近づく事で太陽のエネルギーが3%増えるのは事実のようですが・・・

どの位近かったか?と言うと、太陽までの平均距離(1天文単位=AU)1億4959万kmに対し、近日点は1億4709万km。その差はピンと来ませんが250万kmです。

因みに太陽まで一番遠くなる今年の遠日点は、真夏の7月5日ですが、この時の距離は1億5209万kmで平均距離との差は同じく250万kmです。と言う事で、近づく時と離れる時では500万kmの差で、これは平均距離に対し「3.3%」になります。

月も地球の周りを廻っていますから、同じように今年の数値を調べて見ると・・・

最近が1月18日で369,889km、最遠が5月20日の406,411kmで平均距離(384,401km)と比べると最近で-14,512km(3.8%)、最遠で+22,010km(5.7%)。最近・最遠の差は36,522kmで平均距離に対し9.5%になります。前述の太陽3.3%に対し、かなりの楕円で廻っている事が判ります。

下の写真は遠い月と近い月を比較したのですが、太陽の見かけの大きさがそう変わらないのに対し、月は大きい為、その為に日食が皆既になったり金環になります。

今年金環日食が見られる5月21日(月)は今年の最遠の月の翌日の月が太陽と重なるために見掛けが小さいので金環になるというわけです。



☆新乗組員紹介

はじめまして、椿 佳士郎 といいます。昔から 夜空が好きで、暇さえあれば空を見上げていました。

特に冬は星がきれい最高ですね。目下の最大の夢は”カノープス”を見ること。何とか 今シーズン中にとっています。これから、よろしくお願ひします。

編集後記

◆ この冬は寒くて、外で星を見ていません。受験生もいるし、体温が下がると免疫機能が低下するので・・・風邪予防の防衛というより、言い訳ばかりですが、すっかり体が軟弱になり星を見上げても短時間だけ。観望できない体質!?になってしまいました。暖かい室内から星を見たい・・・

なんて、老人化してしまったかな? トホホ。(辺)
☺ 早いものでもう3月ですね。今年は厳しい寒さが続いています。年明け後観望会がなくてみなさんウズウズしているのではないのでしょうか(笑)5月の日食を楽しみにしています。どこでみようかなあ(石)

◆ あの震災から早1年。何事もなかったように地球は公転し続け、また春がやってくる不思議さを日々感じています。さあ「お花見」ですよ♪。(辺)

◆ ここ数年は暖冬続きでしたが、今冬は寒くて雪も多く降りました。雪が降ると自転車での外出が大変ですが、それでも本来の冬の姿が現れたとの思いで安らぎも感じます。(今)

♥ 昨年10月27日に宮城県岩ヶ崎高等学校の創立70周年記念講演、国立天文台準教授 小久保英一郎氏の『宇宙の中の地球』を講聴して来ました。岩ヶ崎高校に行くのは部活の定期戦以来うん十年ぶり・・・校舎が新しくなっている!

さて、小久保英一郎氏は仙台市出身である白雪とうふの御曹司だそうです。当日は白っぽいシャツにジーンズという親しみ易いお姿。

講演の中身は地球から宇宙の果てまでの最新の宇宙像を「Mitaka」等を使用しての、丁寧な解説でした。今回なぜ岩ヶ崎高等学校に小久保氏を招くことになったのか尋ねたところ、校長先生が天文に関心がある方だとか。

ウーン校長先生えらい☆ (伊)